

平成21年度 「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	「美しく安全な国土の管理・継承」に向けた、地域事業者、地域住民、行政、NPO等との連携・協働による『食と農、農地の再生』事業及び賑わいと魅力と持続性ある『ふるさとの風景づくり活動』推進事業
対象地域	兵庫県赤穂郡上郡町竹万地区ほか
対象地域の概要	  【上郡町と竹万地区の位置図】   【耕作放棄地や農地転用と営農地が混在する地域】 【小規模ながら地元農業者が営む農産物直売所】
提案内容の概要	地域資源を活用したコミュニティ・ビジネスの起業及び新たな事業実施団体の組成により、地域活性化・農村再生と活動資金調達の仕組みを構築し、活動を軌道に乗せる。 さらに、都市農村交流・農業体験を通じて農地維持や地域管理の担い手となる新たな人材を確保し、資金と担い手の両面から地域活動の持続性を高める。
提案する活動の内容 (1) 地域の課題	①昨年度モデル事業によって、地域住民・地域事業者が連携をより緊密にして地域づくりに取り組むことへの意識が醸成されつつあることから、さらに地域全体の大きな広がりある取り組みへと高めるために、引き続き各種事業の具体的な活動を通じて、地域活動の定着化・普及啓発に努める必要がある。 ・竹万自治会及び上郡まちづくり協議会との連携事業回数：1回 また、地域や民間主導での取り組み、まちづくり活動の素地は出来上がりつつあることから、行政との連携についても、さらに拡充していく必要がある。 ・上郡町（当該自治体）との連携事業回数及び広報によるPR回数：1回 ②昨年度モデル事業では、延べ100名以上の都市住民及び地域住民の参加があったが、イベント的な一過性の感が否めなかった。参加者からは継続的な実施ニーズを得ており、今後は、これらの人材が地域活動の担い手として継続的に地域に関わる取り組みとして確立し進める必要がある。また、大学等の研究機関や学生等との連携・協働も新たに確立し、学生諸氏等の若い世代の新たな活力を導入する等の次の手だても講じていく必要がある。 ・都市農村交流イベント開催：2回、地域内交流イベント開催1回
(2) 活動内容の案	活動①ー1：農地や食等の地域資源を活用したコミュニティ・ビジネス起業による、地域主体の持続型地域活性化・地域管理活動資金調達事業及び新たなまちづくり活動団体組成事業

	内容：昨年度モデル事業で検討したＣＢ事業計画案の内、特に短期的に実現の可能性の高い「旬の地元産農産物を使ったこだわりパンの製作・販売（地元食の達人（農業者）とホームメイド協会直轄校手づくり総合教室とのコラボレート）」について、年度後半には起業まで持ち込むための事業計画完成を進める。併せて、このＣＢを推進し、地域のまちづくり活動の中心的な担い手となるまちづくり事業実施団体（ＬＬＰ等の事業組合を想定）を新たに組成する。また、この団体の主たる担い手となる地域リーダーの養成を進める。 さらにＣＢの収益からまちづくり活動資金（地域への還元）を確保・運用するための制度設計を、当該自治体（上郡町）とも連携しながら進める。（次年度には、まず自己資金の運用開始を目指し、将来的には町予算も活用したまちづくりファンド形成等も視野に入れながら事業を進める）。 【活動内容】・ＣＢ起業と新たな事業実施団体の組成 ・地域リーダー養成講座（連続３回講座） ・まちづくり活動資金確保・運用方法制度設計
	活動①－２：地域課題解決型コミュニティ・ビジネス事業の事業計画確立及び工程表作成
	内容：昨年度モデル事業で検討したＣＢ事業計画案の内、残りの３案（「転作田・耕作放棄地の有効活用事業（緑化植物栽培事業）」、「コミュニティ・サロンの起業」、「子育てサポート隊の起業」）について、先に起業する「旬の地元産農産物を使ったこだわりパンの製作・販売」に続くように、事業計画（資金調達計画含む）を確定し、併せてそのための工程表を作成して、次年度以降、地域課題を解決するためのＣＢを同時多発的に起業し、地域活性化を加速させるための準備を進める。 【活動内容】・ＣＢ新規起業事業計画・資金調達計画の確定 ・工程表（ロードマップ）作成
	活動②：都市農村交流・大学等との連携による多様な担い手参画型農業体験及び農地再生・活用事業
	内容：昨年度モデル事業で実施した都市農村交流による農業体験及び耕作放棄地活用事業をさらに拡大し、農作物の植え付けから、管理、収穫までの一連の農作業を、定期的に当該地域において携わるためのプログラムを、兵庫県立大学農村計画学研究室等との連携・協働により企画・実施（本事業中は夏・秋・冬の３回実施予定）し、農地オーナーや体験農園的な手法による当該地域の農地維持・再生、地域活性化を支援する新たな人材の確保・定着を進める（地域内外の住民を含めて実施）。 併せて、大学研究室の研究・実証フィールドとしても活用し、参加者からの事業に対する支払意志額を調査分析するなど、事業の妥当性の検証を進めるほか、学生等の若い担い手の定着も図る。 また、この活動を継続的に実施するために、活動①で組成する事業実施団体が、その受け皿として担うための体制整備も進める。 【活動内容】・農業体験事業（３回） ・農地オーナー（農業体験を通じた地域再生担い手）確保 ・交流事業の指導助言（兵庫県立大三宅准教授） ・都市農村交流事業の調査分析
応募団体名	特定非営利活動法人地域再生研究センター、竹万あゆみ協議会
リンク	http://www.rireg.jp
部局／担当者名	特定非営利活動法人地域再生研究センター事務局／井原
連絡先	TEL078-230-0220 FAX078-230-0210 E-mail: info@rireg.jp
推薦市町村名	兵庫県赤穂郡上郡町